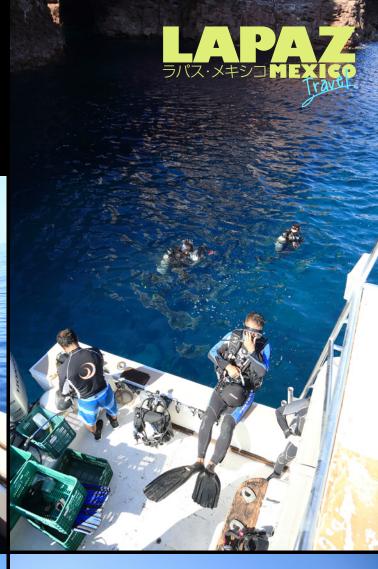


野生の可愛いカリフォルニアアシカが棲む島へ!













明るい海底が広がる ロスイスロテスの南側

まず潜り込んだのは、南側のポイント。ここは、太陽の光が海いっぱいに広がっているので、明るい印象を持つ。ここにはアシカに出会えるミーティングポイントのような場所がいくつかあって、東側の洞窟では、中で待ち受けているアシカの子供たちと遊ぶことができる。空間的には暗がりになるので、少し宇宙のような場所で、泳ぎの上手な未知の生き物と遊んでいる感じ。そして、お隣には大きな亀裂の岩があって、よくダイバーがやって来ては、止まり、アシカとのスキンシップを楽しんでいる。手を甘噛みしてもらったり、フィンを噛まれたり。ここは、ガイドさんもよく知っているので、必ず連れて行ってもらえる場所。そしてお隣は、水面下に大きく平らで、少し傾斜してる岩があって、その岩の裏側がアシカたちの溜まり場になっているので、その岩の前にいると次々とアシカが現れてくれる。このあたりの浅瀬の岩場で、まるで日向ぼっこをするようなアシカに毎年出会える。水の透明感とその奥に映る赤茶けた岩肌など、とても平和的な風景だなといつも感心をしてる。さらにお隣に行くと、今度は少し広い浅瀬があって、そこでもアシカたちがよく泳いでいる。ここでも水面の透明感などを気にしながら、私は撮影を続けた。そして、もう少し進んでいくと西側のアーチとなる。

今回、潜ってみて気がついたことは、お昼頃よりも朝一の方が、アシカはたくさん海の中に入っていて、たくさんダイバーと遊んでくれるということだった。いつ潜っても必ず遊んでくれるのだが、お昼くらいは、岩場で日向ぼっこしてるアシカちゃんが増えるかなと(笑)。

















光と影が美しいロスイスロテスの南側

北側のポイントは、太陽の光が斜めから差し込んでくるので、私の印象では、光と影のダイビングエリア。西側のアーチに近い位置にブイがある。そこからエントリーするとますアーチに向かっていくのだが、そのアーチの光のラインがとても美しい。海底まで真っ直ぐに伸び、その下や周囲には、お魚の群れが居て、それだけでもドラマチックな演出。時折そこにアシカが飛び込んでくる。そのタイミングでまだうまく写真は撮影できていないが、いつかアシカ込みで素敵なシーンを撮影してみたい。そして、この北側には、2つの大きな岩の亀裂があって、そこがアシカとのミーティングポイントになっている。ほぼ間違いなく、ガイドさんはそこに連れて行ってくれる。ここでも、手を甘噛みしてもらったり、キュートな瞳で見つめてくるアシカの子供たちを撮影することができる。ただ、ここはとても人気で、場合によっては各グループが重なり、かなり混雑する場合もある。一番最初にも言及したが、ここは光と影がとてもドラマチックなので、是非、その光を意識して、アシカちゃんの写真を撮影して欲しい。





個人的には、アシカのポイントと 同じくらい大好きなスワニーリーフ



昨年の取材の時、少し残念だなと思うことがあった。それは、スワニーリーフの魚影がとても減少していたことだった。スワニーリーフは、アシカのポイントと 同じくらい大好きなポイントで、毎年潜ることをとても楽しみにしている。水深12mほどの砂地の海底に細長い根があり、そこの周囲を魚群が包む。今回、会えて嬉しかったのは、まず、 アジの群れ。昨年はまったく見かけなかったけど、今年は海中で渦を巻いては、行ったり来たり忙しそうに泳いでいた。そして、砂地の上にはグラントの群れ。そこにヒメジの仲間など が重なってきて、箱庭的な美しさを見せてくれた。水深も浅く、初級者から楽しめる好ポイントで是非、みんなに潜って欲しい。











絵になるファンミンとラレイナ

ラパスにはいろんなポイントがある。沈船も幾つかあるが、オススメなのはファンミン。ダイビング用に沈め られた中国船。素敵だなと思うポイントは、まずはカメが住んでいるということ。沈船とお魚はよく見かけるが、 ここでは、高確率でカメと人工物を撮影することができる。ただ、今回は撮影して思ったのが、少し撮影させ てくれたら船から離れていき、後続のダイバーは見られなかった……すみません。この沈船の魅力は、そんな 一番最初にエントリーしたダイバーだけのものではない。ペネトレーションと呼ばれる船内探索も面白い。船内 への入り口はいくつもあり、サイズも大きいので、圧迫感などはない。中に入っても、窓や様々な穴から光が入っ てくるので、水中ライトもいらないほど。船は三層構造になっていて、エンジンルームやキッチンのような場所 も探索できる。生き物を楽しむダイビングとはまた違った趣がある。

今回は、ラレイナにも足を伸ばしてみた。最近またマンタの目撃例がある! そして大きなアジ玉もいる! と いう情報で向かったが、全てそれほどうまくいくわけではなかった。アジ玉はいなかったがアジの群れには囲ま れた。そして根の周囲には、いくつかの群れがいて、透明度も抜群だったので楽しむことができた。また20年 ほど前のようにマンタの乱舞を見たいが、もう少し先なのかもしれない。

































迫力と感動のジンベエザメの捕食シーン

2ダイブを終えて、ラパスの湾内に向かった。みんなで目を凝らして海を見つめる。意外にあっさりとボートキャプテンが水面下に映る黒い影を 見つけた。イルカほどのサイズだったが、形はジンベエザメで、水中撮影を試みたかったが、すぐに姿を消した。ゆっくりボートを走らせていくと、 またすぐに黒い影が見つかった。エントリーして接近していくと大きな影が目の前を泳ぐ。泳ぐスピードが速いのと透明度があまり良くないので、 少しだけ撮影してさよなら。ボートに戻って、別の個体を探す。またすぐに見つかって、今度は正面から撮影することができた。もう終わりかな?と思っ ていると、また黒い影を見つける。今度は全然泳いでなくて、一箇所に止まっている。「捕食してる!」と飛び込んで、みんなでジンベエザメを囲む。 その輪の中でくるくると回りながら、ジンベエザメは大きな口を開けて、水ごとブランクトンを捕食していた。圧巻のシーン。ぶつかったりしない限り、 ジンベエザメは、そこに止まり捕食を続ける。私たちは十分楽しんだので、後続のボートにそのまま譲った。そして港に帰る途中に別のボートが捕 食しているジンベエザメとスノーケルしているのを見つけた。この海域に一体何匹いるのだろう……。素晴らしい体験となった。











ラパスのお勧めのレストラン

毎年通っていると、もう好きなレストランが決まってきて……。紹介するのは、昨年と変わらないお店 もあるのだけど、改めて行って、やっぱり美味しかったとお墨付きのお店を紹介。

さてさて、まず初めてラパスを訪れる方には、タコスのお店「ランチョビエホ」ですね。とても人気の お店で店内も広く、メキシカンな雰囲気は抜群。まず、どかっとチリなどが入ったお皿が出てきて、次に、 小麦粉かトウモロコシのトルティーヤを選ぶ。お勧めは、アラチェラというお肉。数名で行くなら、1キ 口くらいを大皿で頼んで、みんなでタコスを作って、がっつくのも良い!

安定の人気は、マレコン通り沿いの「ビスマルクシート」。ここはタクシーのおじさんも「そりゃ、ビス マルクシートがいいよ!」とぽろっと教えてくれるシーフードのお店。セビッチェやシュリンプカクテル、チョ コラータ、生牡蠣など何でも美味しい。そしてもちろんお魚料理にタコ料理も抜群。でも個人的なお勧 めは、大きなパンをくり抜き、そこに濃厚なクラムチャウダーを入れた1品。これがまた絶品。

そして、ガイドのエミさんに連れて行ってもらった街中の「La Mar y Pena」。メニューも豊富で値段 もお手頃。このお店でもセビッチャやお魚料理を美味しく頂けた。

また最終日、少し贅沢に楽しく美味しく行きたい時は、「El Mezquite Grill」がとてもお勧め。ここは 地元の人も通うハンバーガー屋さんだが、ボリューム満点のヒレステーキがとても美味しい。ぜひ、満 腹になるまで堪能して欲しい!

























ラパスでも老舗の 大型ダイビングセンタ・ コルテスクラブ

ラパスでも老舗のダイビングセンターであるコルテスクラブ。大小様々なダイビングス ピードボートを14隻ほど所有し、世界中からエキサイティングなダイビングを望むゲスト の希望やリクエストを叶えていく。イメージするメキシカンのような陽気なキャラではな いが、しっかりと全体をまとめるマネージャーのリカルド。そして繁忙期には、他数名の 日本人ガイドが活躍する。ローカルのメキシカンガイドやボートキャプテンもホスピタリティ が高く、頼れる存在なので、安心してダイビングが行える。ラコンチャホテルに併設され、 ダイビング専用のプライベートの桟橋を所有するので、ボートへのアクセスも容易。アフ ターダイブは、ダイビングセンター内のサンセットバーで、セルベッサやマルガリータを 飲むのも最高に美味しい。





















ラコンチャホテル

コルテスクラブを併設するリゾート。ラパス国際空港から約30分。ラパスの町の中心から車で約 8分のロケーションに位置する。海岸線に面し、光と緑があふれる南国の雰囲気がある美しいリゾート。 敷地内の中央にはプール、レストラン、バーがあり、いつもゲストで賑わう。朝食は、ゲストの人数 によってブッフェの時もあるが、アメリカン、メキシカン、パンケーキから選ぶ。メインの建物は3階 建てで、全92の客室はすべてオーシャンビュー(1階は見えにくいが)。ベランダもあるので、器 材干しなど使い勝手が良い。WiFi (無料)、バルコニー、およびテレビ (ケーブル放送付き) が備わっ ている。滞在のゲストは、ミニバー、ルームサー

ビスが利用でき、毎日無料のボトルウォーター がサービスされる。







